

上小だより

令和8年1月15日
文責 校長 山本祥博

育成をめざす3つの力「思いやりの心・がんばりぬく力・伝える力」

「伝える力」の向上を

毎朝、凜とする寒さの中、子供達は白い息を吐き、手を真っ赤にしなが
ら元気よく登校しています。

3学期になって1週間が過ぎました。遅くなりましたが、「新年あけまし
ておめでとうございます。今年も子供たちの幸せと成長のために、皆様と
力を合わせ、全職員一丸となって進んでまいります。よろしくお願いいたします
します。」

昨年、2学期の終業式で2つのことを約束しました。

- 1 命を大切に過ごす。
- 2 新しい年の目標を立てる。

まずは、大きな事故やけがもなく3学期を迎えられたことをありがたく
嬉しく思います。また、2つめの「新しい年の目標を立てる」についても、
それぞれ考えてきたことを口に出し、自分自身に語りかけていました。

さて、2学期に実施しました「心のアンケート」において、「自分の悩み
を相談しなかった。」という問いに対して「しなかった」と回答した子供が
少なからずいました。家族や友達、先生、地域の方、誰でもいいのです。
相談することによって心が軽くなったり、救われたりすることもあります。
そのような現状をしっかりと受け止め、3学期のスタートにあたって、特
に力を入れていきたいこととして、「伝える力の向上」について話しました。

「伝える力」とは？「自分の思いや悩み、考えを出そうとする力または
方法」「相手がわかるよう表現する力」「相手に伝わる態度や表情」という
ことかなと考えました。そこで子供達には以下の3つの力を特に意識して
伸ばすよう伝えました。

- 1 話す力の向上
 - 2 書く力の向上
 - 3 聞く力の向上
- です。

1と2に関してはまさに「伝える力」です。どんな言葉で、声の大きさ
で、どんな字で、どのような書き方で、目的を達成するためにどのよう
な表現、方法がいいのか、考えると無数にあります。

3の聞く力については、聞く態度によって、話している相手がどう受け
止めるのか。相手の目を見て、うなずいて、どんな表情で聞けば相手に自
分の心が「伝わる」のか。聞くこともまた伝えることだと話しました。

2月21日（土）には、創立150周年記念式が行われます。今、実行
委員会の皆様を中心に、150年の歴史を振り返りながら、また次の時代
へのスタート、思い出に残る記念式となるよう進めています。子供たちに
とっても「伝える力」を発揮できる最高の舞台です。この素晴らしい機会
を子供たちの成長につなげていきたいと思います。

今後とも、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。